

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公表番号】特表2009-506852(P2009-506852A)

【公表日】平成21年2月19日(2009.2.19)

【年通号数】公開・登録公報2009-007

【出願番号】特願2008-529446(P2008-529446)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/145 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/14 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月8日(2009.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

- ブドウ糖の自己測定による食前ブドウ糖濃度測定値；
- 最大ブドウ糖上昇に対する糖質部分の効果；
- 食事中の糖質量の概算値；
- 最大ブドウ糖降下に対する食事インスリンの効果；
- インスリン用量、

を考慮に入れた、食後ブドウ糖濃度測定システムであって、

自己測定した食前ブドウ糖の許容誤差が考慮され、治療作用計画に基づいて食後ブドウ糖値が計算され、

誤差も、

- 最大ブドウ糖濃度上昇に対する糖質部分の効果；
- 食事中の糖質量の概算値；
- 最大ブドウ糖濃度降下に対する食事インスリンの効果；
- インスリン用量、

のうちの1つ又はいくつかについて考慮されることを特徴とするシステム。

【請求項2】

食後ブドウ糖濃度が、治療計画にしたがい、さまざまな範囲の食前ブドウ糖濃度値について測定されることを特徴とする、請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

食前血糖に対する食後血糖として結果が表示されることを特徴とする、請求項1または2に記載のシステム。

【請求項4】

ブドウ糖濃度の下限を越えることによって臨界点に達したのか、ブドウ糖濃度の上限を越えることによって臨界点に達したのかが決定されることを特徴とする、請求項1乃至3のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項5】

治療計画が、以下の関係：

【表 1】

BG (mg/dl)	<40	40-60	61-120	121-160	161-200	201-240	241-300	301-360
CARB-P (n)	X+2	X+1	X	X-1	X-2	X-3	X-4	X-5

にしたがい、食前ブドウ糖濃度に関連した糖質自己調整を含み、ここで、Xは、血糖範囲 61～120 mg/dl に対する糖質部分の数 (X = 1、2、3、4、又は 5) であることを特徴とする、請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 6】

治療計画が、以下の関係：

【表 2】

BG (mg/dl)	<61	61-80	81-120	121-160	161-200	201-240	241-300	301-360
インリン用量 (U)	0	-1Y	Y	+1Y	+2Y	+3Y	+4Y	+5Y

にしたがい、食前インスリン用量自己調整を含み、ここで、Yは、血糖範囲 81～120 mg/dl に対する、例えば 1 単位インスリン / 1 CARB-P であることを特徴とする、請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 7】

継続血糖モニタリングの傾向が、以下：

【表 3】

ブドウ糖 (mg/dl)	<61	61-80	81-120	121-160	161-200	201-240	241-300	301-360
傾向								
UU	0	Y	+1Y	+2Y	+3Y	+4Y	+5Y	+6Y
U	0	-1Y	Y	+1Y	+2Y	+3Y	+4Y	+5Y
=	0	-1Y	Y	+1Y	+2Y	+3Y	+4Y	+5Y
D	0	-2Y	-1Y	Y	+1Y	+2Y	+3Y	+4Y
DD	0	-3Y	-2Y	-1Y	Y	+1Y	+2Y	+3Y

のように考慮され、傾向は、以下：

【表 4】

非常に速いブドウ糖上昇	>+2mg/dl/分	UU
速い	+(1~2)mg/dl/分	U
遅い変化	<±1mg/dl/分	=
速い降下	-(1~2)mg/dl/分	D
非常に速い降下	>-2mg/dl/分	DD

のように定義されることを特徴とする、請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 8】

- ブドウ糖の自己測定による食前ブドウ糖測定値；
- 最大ブドウ糖上昇に対する糖質部分の効果；
- 食事中の糖質量の概算値；
- 最大ブドウ糖降下に対する食事インスリンの効果；
- インスリン用量、

を考慮に入れた、食後ブドウ糖濃度を測定するためのコンピュータプログラムであって、自己測定した食前ブドウ糖の許容誤差が考慮され、治療作用計画に基づいて食後ブドウ糖値が計算され、

誤差も、

- 最大ブドウ糖上昇に対する糖質部分の効果；
- 食事中の糖質量の概算値；
- 最大血糖降下に対する食事インスリンの効果；
- インスリン用量、

のうちの1つ又はいくつかについて考慮されることを特徴とするコンピュータプログラム

【請求項9】

食後ブドウ糖濃度が、治療計画にしたがい、さまざまな範囲の食前血糖値について測定されることを特徴とする、請求項8に記載のコンピュータプログラム。

【請求項10】

食前ブドウ糖濃度に対する食後ブドウ糖濃度として結果が表示されることを特徴とする、請求項8または9に記載のコンピュータプログラム。

【請求項11】

ブドウ糖の下限を越えることによって臨界点に達したのか、ブドウ糖濃度の上限を越えることによって臨界点に達したのかが決定されることを特徴とする、請求項8乃至10のいずれか1項に記載のコンピュータプログラム。

【請求項12】

治療計画が、以下の関係：

【表9】

ブドウ糖 (mg/dl)	<40	40-60	61-120	121-160	161-200	201-240	241-300	301-360
CARB-P (n)	X+2	X+1	X	X-1	X-2	X-3	X-4	X-5

にしたがい、食前ブドウ糖濃度に関連した糖質自己調整を含み、ここで、Xは、ブドウ糖範囲61～120mg/dlに対する糖質部分の数(X=1、2、3、4、又は5)であることを特徴とする、請求項8乃至11のいずれか1項に記載のコンピュータプログラム

【請求項13】

治療計画が、以下の関係：

【表 1 0】

ブドウ糖 (mg/dl)	<61	61-80	81-120	121-160	161-200	201-240	241-300	301-360
インスリン用量 (U)	0	-1Y	Y	+1Y	+2Y	+3Y	+4Y	+5Y

にしたがい、食前インスリン用量自己調整を含み、ここで、Yは、ブドウ糖濃度範囲81～120mg/dlに対する、例えば1単位インスリン/1 CARB-Pであることを特徴とする、請求項8乃至12のいずれか1項に記載のコンピュータプログラム。

## 【請求項14】

継続血糖モニタリングの傾向が、以下：

【表 1 1】

ブドウ糖 (mg/dl)	<61	61-80	81-120	121-160	161-200	201-240	241-300	301-360
傾向								
UU	0	Y	+1Y	+2Y	+3Y	+4Y	+5Y	+6Y
U	0	-1Y	Y	+1Y	+2Y	+3Y	+4Y	+5Y
=	0	-1Y	Y	+1Y	+2Y	+3Y	+4Y	+5Y
D	0	-2Y	-1Y	Y	+1Y	+2Y	+3Y	+4Y
DD	0	-3Y	-2Y	-1Y	Y	+1Y	+2Y	+3Y

のように考慮され、傾向は、以下：

【表 1 2】

非常に速いブドウ糖上昇	>+2mg/dl/分	UU
速い	+ (1~2) mg/dl/分	U
遅い変化	<±1mg/dl/分	=
速い降下	- (1~2) mg/dl/分	D
非常に速い降下	>-2mg/dl/分	DD

のように定義されることを特徴とする、請求項8乃至12のいずれか1項に記載のコンピュータプログラム。

## 【請求項15】

請求項8乃至14のいずれか1項に記載のコンピュータプログラムを含有する、データ記憶媒体。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】図面

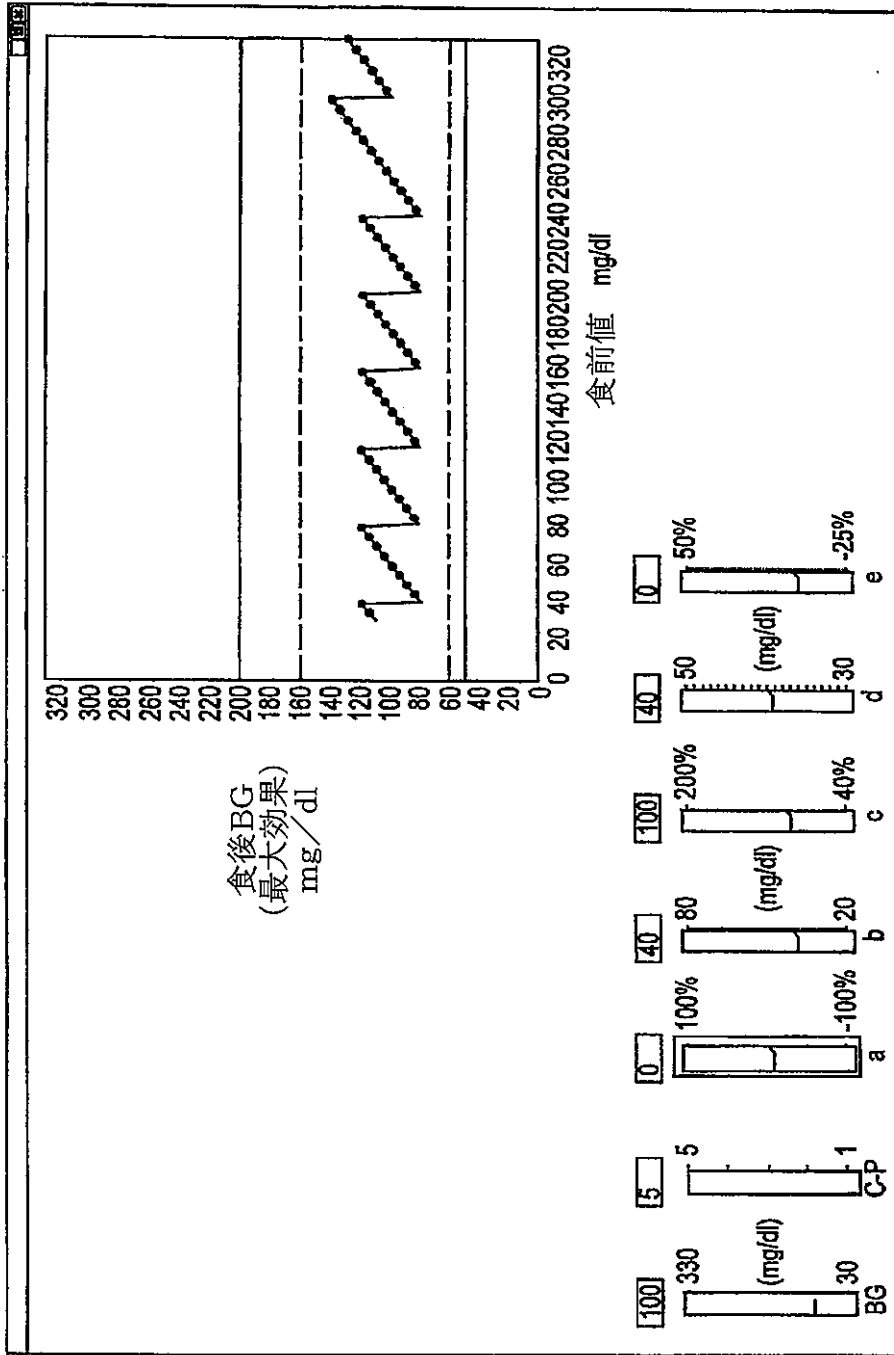
【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 1 】

パラメータ 属性 BG : エラーの影響



【 手続補正 3 】

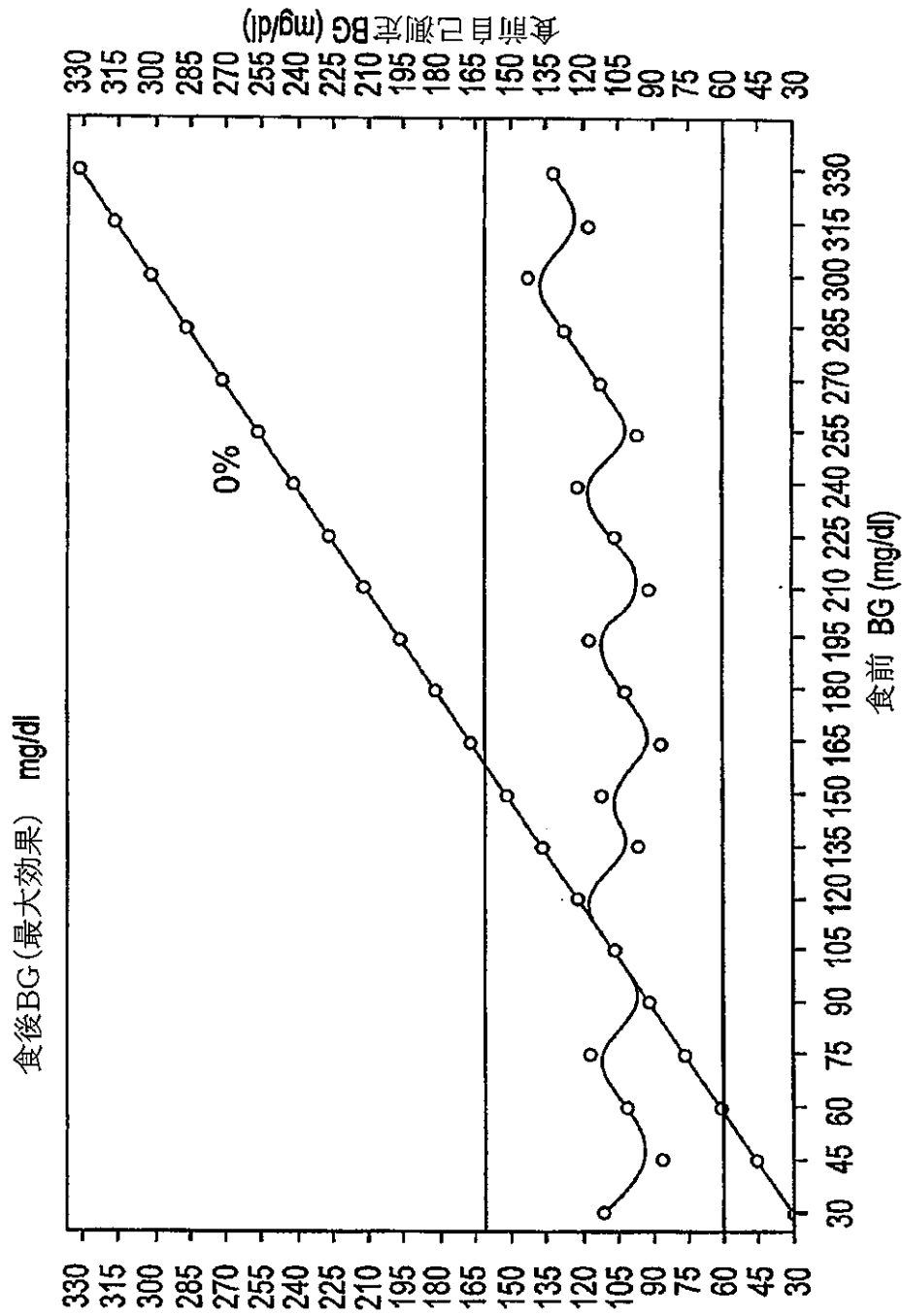
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 4

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 4 】



【 手続補正 4 】

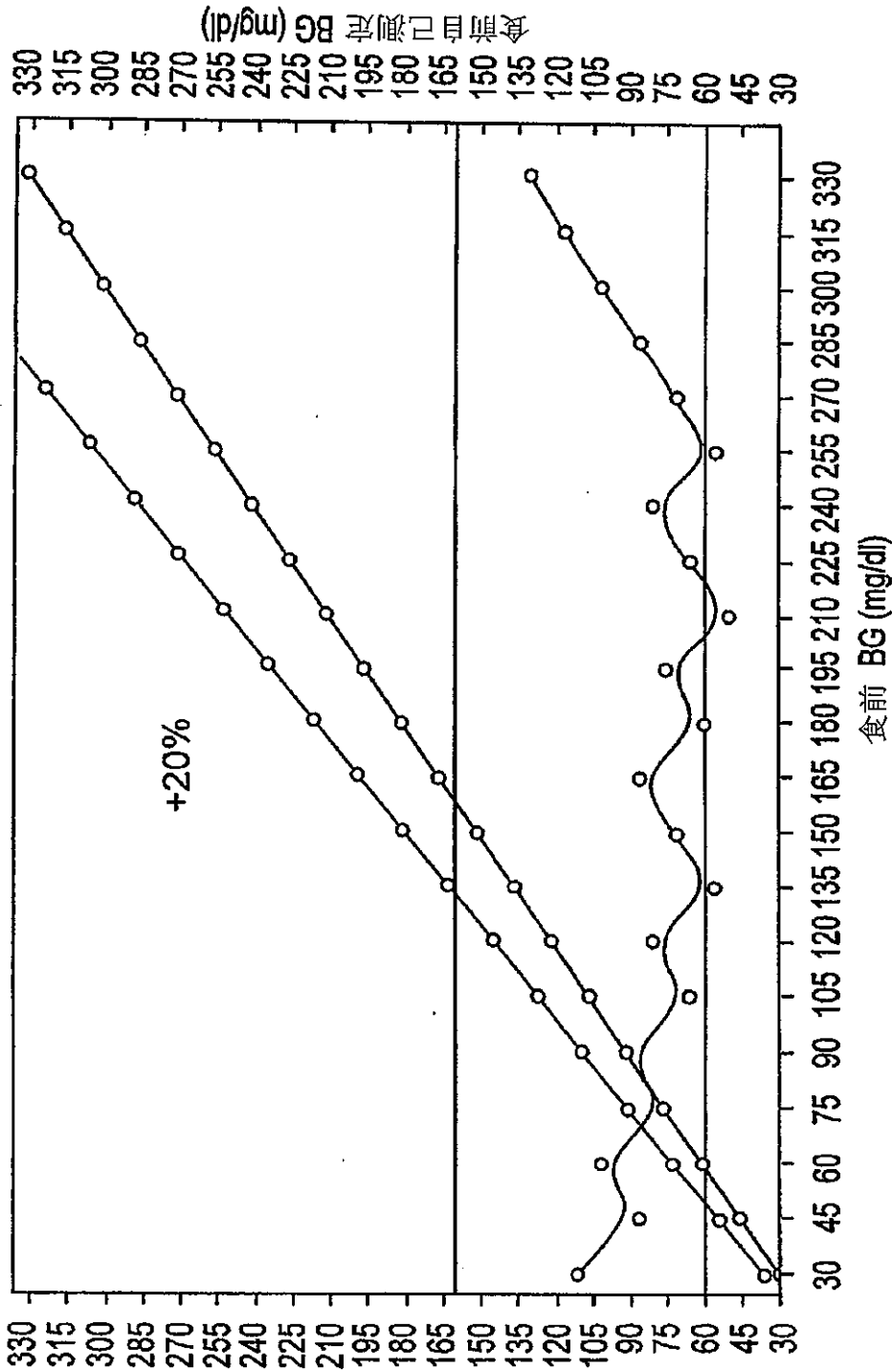
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 5

【 補正方法 】 変更

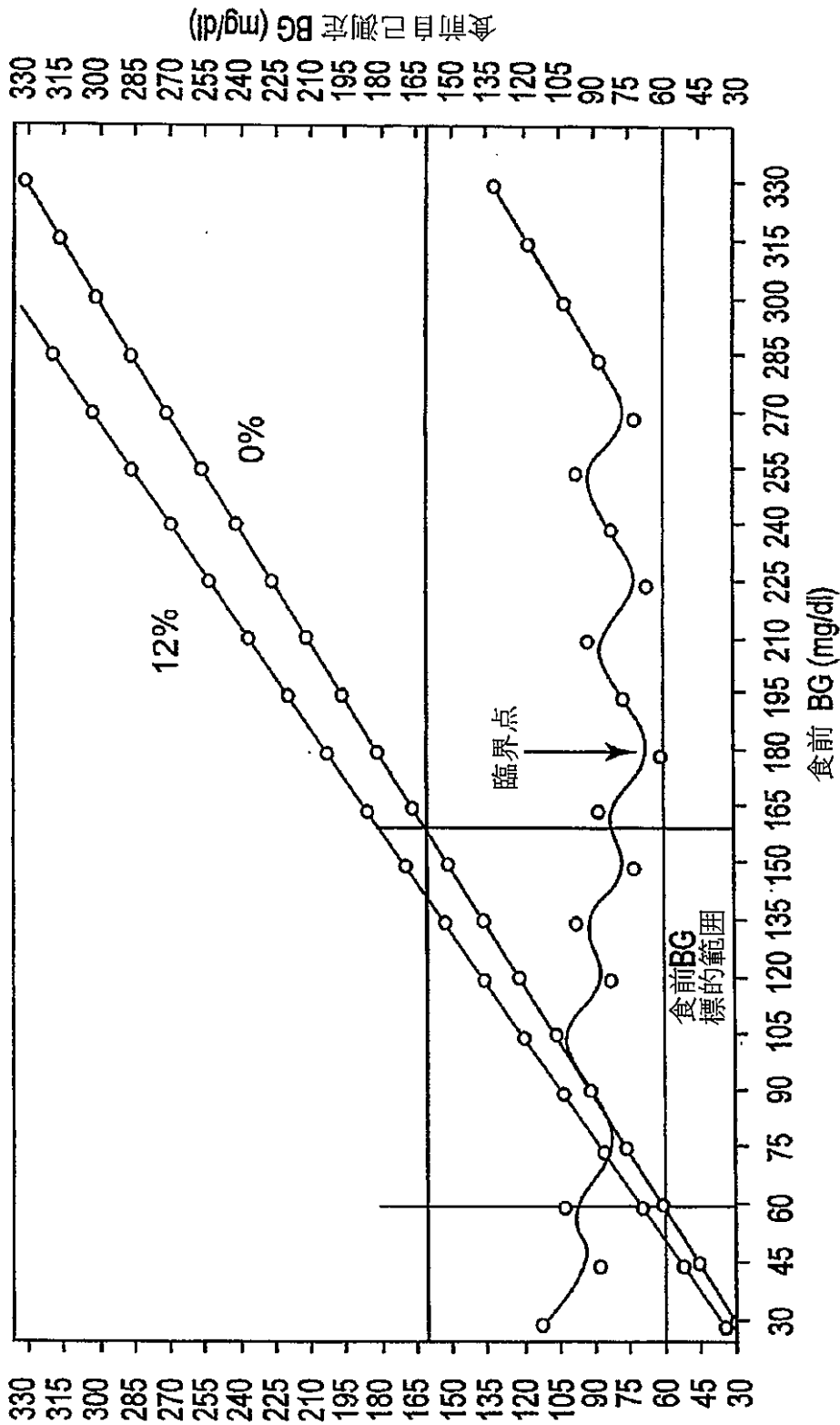
【 補正の内容 】

【 図 5 】



- 【 手続補正 5 】
- 【 補正対象書類名 】 図面
- 【 補正対象項目名 】 図 6
- 【 補正方法 】 変更
- 【 補正の内容 】

【 図 6 】



【 手続補正 6 】

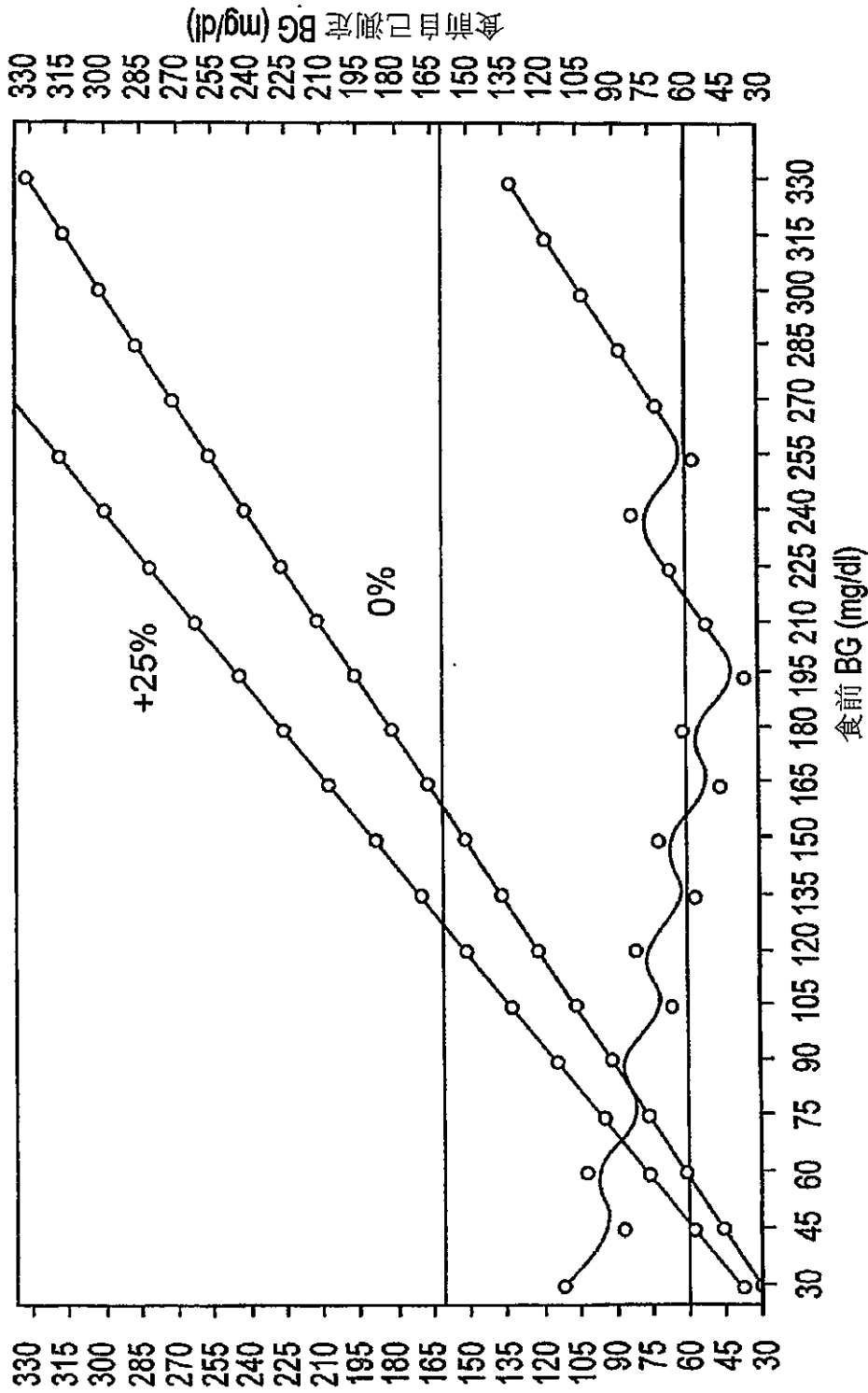
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 7

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 7 】



【 手続補正 7 】

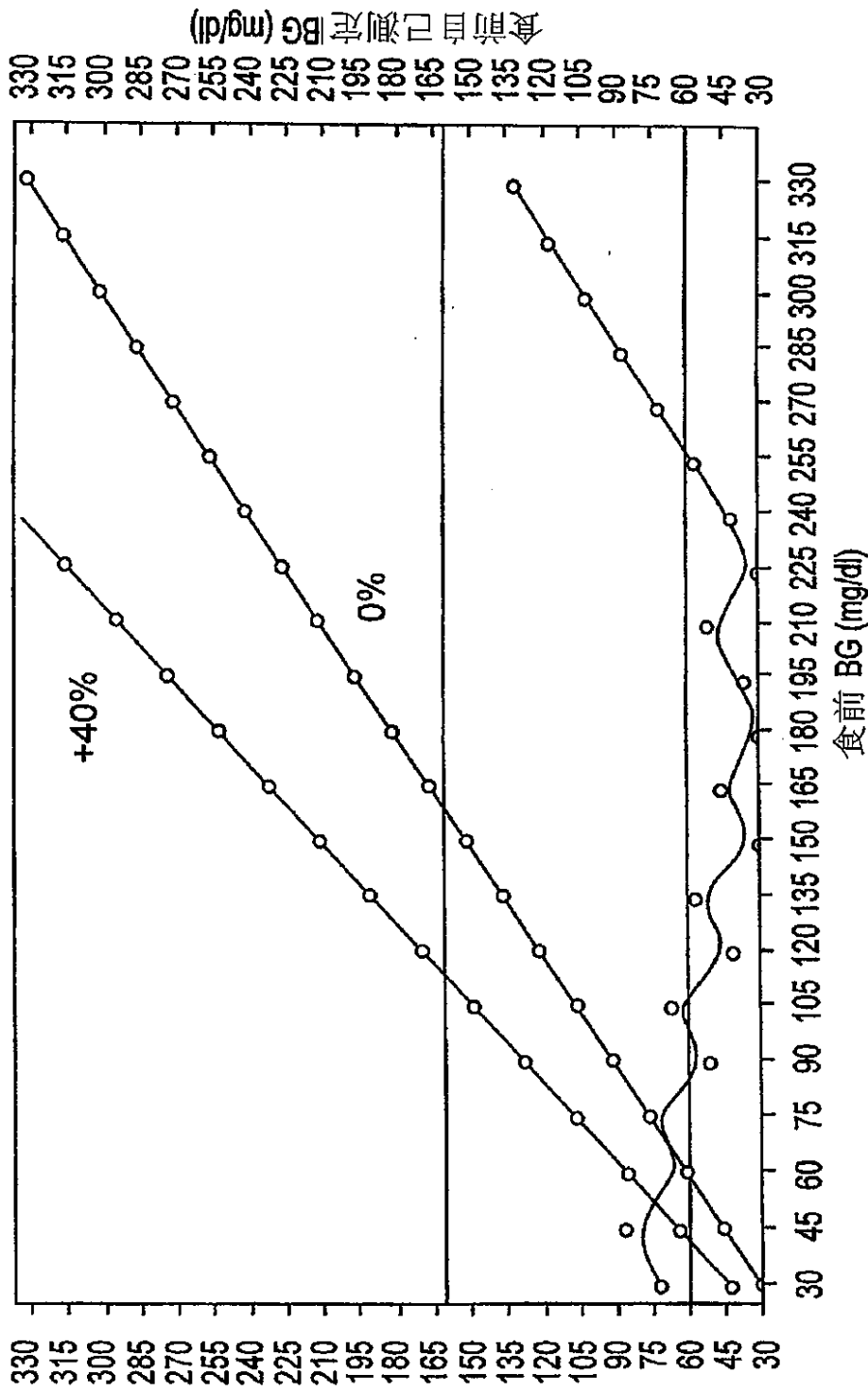
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 8

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 8 】



【 手続補正 8 】

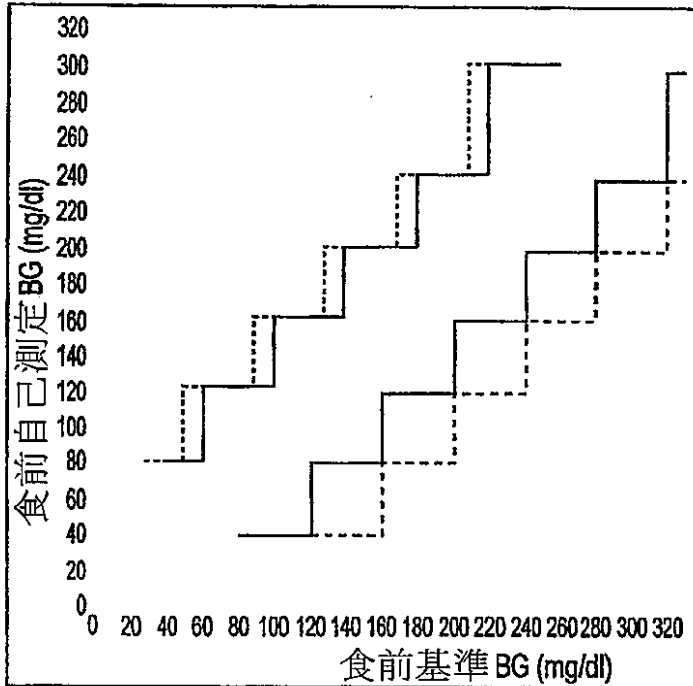
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 1 1

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 1 1 】



【 手続補正 9 】

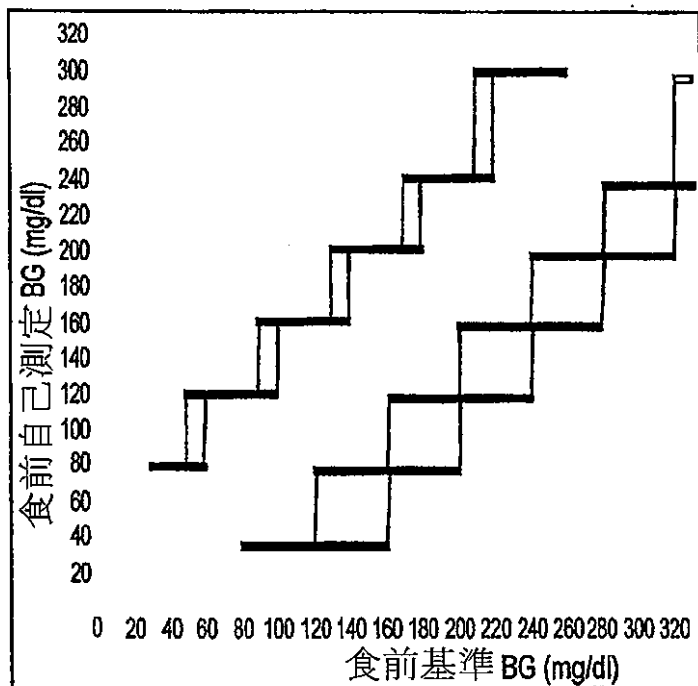
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 1 2

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 1 2 】



【 手続補正 1 0 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 1 3

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 図 1 3 】

